

## 【アイデア部門】

### 環境整備賞 小林 那波

#### スポーツイベントを通じて 視覚障害を知る機会を作る

現在、パラリンピックなどがあるように、障がい者の方が楽しめるスポーツが多くあると思います。しかし健常者の間ではそれらのスポーツは一般的ではないし、知ることができる機会も少ないと思います。私は大学生の時に視覚障害者の方が楽しむスポーツである「ゴールボール」を体験させていただく機会がありました。その時は健常者のみで目隠しをして行いましたが、大変楽しかったことを覚えています。私はこれらの経験から、障害のある方でもない方でも一緒にスポーツを楽しむことが可能であると考えます。またスポーツを通じて障害を認知・理解するきっかけになると考えました。そこで、視覚障害者の方が楽しむスポーツを楽しむ機会を作り、そのイベントスタッフとして視覚障害者の方が活躍できないかと考えました。イベントでは受付や案内、各ブースでのスポーツインストラクターなど様々な役割のスタッフが必要となります。そこでAIを活用し、会場全体を把握できるようにしたり、音声で流れる会計システムを導入したりする事で視覚障害者の方を主としたスポーツイベントの開催ができるのではないかと考えました。

#### 審査員コメント

就労機会としては限定的にはなりますが、障害の有無に関わらず楽しめる場づくりや、イベントを通じて障がいを知ってもらう機会とすること、運営方法などが具体的でとてもよいアイデアと思います。

パラスポーツに関心を持っていただくことにより共生社会を構築することは可能であると考えています。そしてその普及啓発には当事者が関わるべきだと考えていますので、ぜひ応援したいです。



小林 那波

大阪医療福祉専門学校視能訓練士学科1年制在学中。